

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度	平成17年度～	問	担当課(室)
総合計画大項目	03 地域文化と人が輝くまちづくり	合	職・氏名
中項目	01 未来を支える人材を育むまちづくり	先	電話
小項目	02 小・中学校	このシート作成に要した時間	
事務事業名	13 国際理解教育推進事業(14情報教育推進事業含む)	1.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市内小・中学校の全児童生徒	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的(何のために)	小学校の英語学習の時間、中学校の英語の時間の充実	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	児童生徒が国際感覚を身につけ、基礎的な英語力を身につける。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名			
	小学校ALT配置事業	5・6年生で必修化となった外国語活動の充実を図るため、ALT(外国語指導助手)を2名配置。5・6年生の児童が平均して週1時間程度、ALTの授業を受けることのできる環境を整備する。		
	中学校ALT配置事業	ALTを3名配置することにより、各学校の生徒が平均して週1時間程度、ALTの授業を受けることのできる環境を整備する。		
	自治体国際化協会負担金事務	JETプログラム雇用ALTのあっせんを行う自治体国際化協会への負担金の事務を行う。		
	情報教育推進事業	情報教育に係る指導資料等の提供・指導・調査を実施する。		

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
事業費	直接事業費	千円	24,558	25,262	25,252
	必要人員費	人	0.08人	0.14人	0.08人
	事業費	千円	25,400	26,613	25,910
決算額	国庫支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	その他()				
	一般財源		25,400	26,613	25,910
	受益者負担比率	%	-	-	-

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	ALT配置人数(小・中学校)	人	5	5	5
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	24,947,000	26,087,000	25,708,000
	単位当たりコスト		4,989,400	5,217,400	5,141,600

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	AL Tの学校配置率(%)	目標値(A)	30%	30%	30%	30%
		実績値(B)	26%	26%	26%	到達目標値
		達成率(B/A)	86.67%	86.67%	86.67%	30%
成果指標設定の考え方・式や説明						
配置人数 / (小学校数 + 中学校数) × 100%						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある 市民・団体等から要望・要請が強い		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
有効性の評価	コスト	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民参画度			

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	平成24年度から派遣契約によるALT配置により、学校の実態に即した活用ができる環境が整っている。引き続き同形態での事業の実施が可能となるよう努力していきたい。

総合評価		総合評価
児童生徒に国際感覚や英語力を身につけさせるための指導とともに、地域住民を対象とした英会話教室等、地域における国際化推進にも貢献しており、有益な事業である。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	現在の品質を維持した上での、経費削減や契約形態等について、他市から情報収集しながら改善を加えていきたい。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Action